『わあ！大きなクリがあるよ』
十二所果樹園で家族でクリ拾い

「わあ！　ここにも、あそこにも」―鎌倉風致保存会が、緑地保存のため所有している十二所果樹園で、9月8日午前10時から「家族たちのクリ拾い」があった＝写真。

約5㌶の園内にはウメ4百本のほかクリの木が2百本ほどある。初秋のころ小学生以下の子どもさんとその家族を対象にしたクリ拾いをしている。

50組の申し込みがあり、うち抽選で30組約百人の家族たちが参加した。前日の台風9号の強風で、はぜたクリが沢山落ちた。例年になく出来がよく「大きくて甘味も十分」という。

拾ったクリはキロ5百円で即売した。2人の子どもを連れてきた母親は「初めてクリがどういう状態で、実っているのかを子どもが知っかり、よい自然の勉強会だった」と話していた。

ひと
「父の小指」の題で随筆・俳句集出版
奥津伸司（おくつしんじ）さん

「昼寝の児　父の小指を握りけり」本のタイトルになった俳句である。モミジのような小さな手で、筆者の小指をギュと握り締めたまま、すやすやと眠っている息子の寝顔を見ていて父親としての責任を実感した。

かつて自分も父親との間でそうした記憶がある ことを思い起こし、父、自分と息子一親子三代が小指でつながれているような気がしたという。

「父の小指」は奥津さんの随筆と俳句を写真や挿絵などを織り交ぜて紹介している本で、美研インターナショナル（☎03・3947・1021）の芸術アート作品集の部門から出版された。

筆者は湯河原出身で、温泉街の入口近くの家で高校まですごした。近くの万葉公園には万葉集の歌碑など、島崎藤村や国木田独歩ら文学者ゆかりの地で、小さい頃から文学に親しんだ。学生時代は、万葉集や古今和歌集、現代詩などを読みあさった。

俳句の世界に入ったきっかけは、息子とホタルを見ていたのを「下駄はきで小さき手引く蛍の夜」と詠んだ。母に見せると、母は著者の幼い頃を思い出して泣き出した。そのとき、17文字に秘められた、人を感動させる力に魅せられた。

3年前に父を亡くし、その思い出を形にして母に渡そうと思って随筆を書き始めた。俳句とともに書きためていたところ出版社から話があり、御主火（オスカー）のペンネームで本になった。

9編の随筆と212の俳句が載っている。カラー164㌻、1㌻15句が詠まれており、花や風景など の写真も目に楽しい。

「乱れ萩くぐりて拝む 札所かな」の背景は鎌倉の宝戒寺。鎌倉俳句&ハイクの昨年秋の部で、2千百句の応募作の中から入選の頭に選ばれた。

「梅が香に婚礼の列ほどけそう」は鶴岡八幡宮での作句。実朝忌俳句大会の市議会議長賞を受賞している。

鉄鋼関連企業に勤務して仕事に明け暮れる生活をしていたが、4年前、疲労で倒れ、入院した。そのとき、ここで自分が死んだら何も残らないと思い、ベッドの上で夜通し書いた。幼い頃から慣れ親しんできた文学の知識が役に立った。

「見て感動したものを俳句にする。お金では買えない財産です」

俳句をつくるようになって、時間をみつけては鎌倉の寺社めぐりしている。植物にも興味をもち、よく観察するようになった。ひとりよがりの俳句ではいけないと、俳句の結社に入って、月1回は指導を受けている。

逗子市小坪在住。妻の両親、子どもら6人家族。49歳。（C）

妊婦のおかめに人気
御霊神社の面掛行列

県の無形文化財に指定されている鎌倉・御霊神社の面掛行列が例祭の9月18日に行われた＝写真。

五穀豊穣、無病息災を祈る湯花神楽などに続いて、天狗・鬼・異形・鼻長・翁・福禄寿・おかめなど10種類の面をつけた人が、参道を出て坂ノ下通りなどを行列した。

中でも大きな腹をなでながら歩く妊婦姿のおかめが人気を集めた。おなかに触れる人もいた。祭の半てん姿の園児、白装束で白いのぼり旗や刀を担いだり、囃子などで参加の小学生、天王唄を唄いながらみこしを担ぐ大人たちなど坂ノ下町内会の約百人が行列に参加し、見物客でにぎわった。

秋風にのって笛や太鼓の調べ
郷土芸能祭りばやし大会

日本の祭りの象徴のような祭りばやし。38回鎌倉郷土芸能大会の祭りばやし大会が9月9日、鶴岡八幡宮境内の源氏池側広場で行われた＝写真。

鎌倉囃子山崎保存会、葛原岡神社由比ガ浜囃子連、大町祇園会、腰越天王囃子保存会、坂ノ下囃子連、材木座囃子連中、今泉はやし会などが出演した。

初夏から秋にかけての鎌倉の祭りには天王さんと呼ぶみこしが出るが、これにはやしがつくのが多い。笛や大小の太鼓、すり鉦を基本の合奏で、涼やかな初秋の風にのって郷愁を運ぶ。10月21日正午から鎌倉生涯学習センターで郷土芸能大会がある。

模擬店や車イス体験など
鎌倉福祉まつりにぎわう

9月はじめの秋晴れの日曜日、鎌倉市御成町の鎌倉福祉センターで福祉まつりが行われ、大勢の人でにぎわった。

81年の国際障害者年を契機に毎年開かれ、27回目。各地区社協や市立御成小学童父母会など16の団体が焼き鳥や大学いも、かき氷などの模擬店を出した。

仮設ステージでは、市内のボランティアグループの和太鼓やウクレレの演奏、市立第二中学吹奏楽部のよさこいソーラン踊り、人形劇などが行われ、会場を活気づけた＝写真。

市内の商工業者、市民などから提供を受けた物品のバザー、障害者の地域作業場の作品の販売もあった。

福祉やリハビリの相談、アイマスクや車イスの体験に加えて、認知症の疑似体験も行われた。

売れゆき好調の梅ワイン
さわやかな酸味に人気

鎌倉の特産物として、04年秋、誕生した「鎌倉梅ワイン」が9月上旬から市内の酒販店55店舗で販売されている＝写真。

鎌倉酒類開発協議会が商業、観光の活性化のために、市内の農家や寺などで収穫された梅を原料に山梨県の勝沼で醸造し、製品化した。

今年は原料の梅が昨年より2百㌔ほど少ない約1890㌔で、生産数は百本減の約8千4百本。すでに市内の酒販店から生産数を上回るほどの受注が入っているという。

上品な甘さとさわやかな酸味が持ち味で、ラベルのデザインは発売当初、公募し、応募作90点のデザインの中から選ばれた。720㎖1236円。購入は梅ワインのぼり旗のある店を目印に。

足・靴の悩み無料相談
大船 ロビンフット靴店

靴が合わない、歩くと足が痛いという人は、「大船ロビンフット靴店」へ。無料足診断で、足を計測し、足の形状や健康状態を"カルテ"にして、ぴったりの靴を選んでくれます。

また、中敷きの製作や、靴の加工で、足と靴の悩みに応えてくれます。

こんな悩みはぜひ相談を
外反母趾、扁平足、タコ、ウオノメ、巻爪、ハンマートゥ、膝関節症、股関節症、腰痛、リウマチ・糖尿病・麻痺で履く靴がない。子どもがよく転ぶ。歩き方がおかしい。

婦人靴・紳士靴・子供靴と品揃えは豊富

営業時間／10時～19時
定休日／なし
大船駅東口徒歩3分
☎0467(42)6322

CHINESE-RESTAURANT
大切にします……「心」からのおもてなし。
中国料理　華正楼（かせいろう）
●鎌倉店／鎌倉長谷大仏前 ☎0467(22)0280㈹ ●横浜中華街／本店 ☎045(681)2918㈹ 新館 ☎045(661)0661㈹

展示即売会場
2F 貸画廊(75㎡)
3F 貸教室
ギャラリー島森
●予約申込み・問合せ ☎0467(24)3160　島森商事㈱

本を通じ、皆様のお役に立ちたいと願っています。
雑誌・書籍・文具・事務用品・ファンシー
鎌倉駅東口前 ☎0467-22-0266
大船駅東口前 ☎0467-46-3841
島森書店

Yamaki かまくらカスター
鎌倉本店　鎌倉駅前本館（かの鎌倉）
逗子店　ルミネウィング（大船）店
横浜そごう店　藤沢小田急店

七五三のお赤飯、鳥の子餅　ご注文承ります
御菓子司　大くに
鎌倉大町四ツ角　☎22-1899

心なごむ銘菓の数々、ご家庭での憩のひと時に、また贈物にご用命下さいませ。
神奈川県指定銘菓　あじさい
十二所バス停先　鎌倉紅谷　☎(25)2187